平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名　大日精化工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4116　URL　http://www.daicolor.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　弘二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役理財部門担当　(氏名) 武市　義彦　TEL 03-3662-7111

四半期報告書提出予定日　平成23年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	39,661	△0.7	2,583	△4.6	2,662	4.9	1,319	△32.8
23年3月期第1四半期	39,923	26.2	2,706	327.7	2,538	227.5	1,962	282.2

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　1,947百万円　(40.7%)　23年3月期第1四半期　1,384百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	14.21	―
23年3月期第1四半期	21.14	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	148,558	48,554	32.0
23年3月期	147,740	47,088	31.2

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　47,477百万円　23年3月期　46,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		6.00	―	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)　当社は平成23年10月に創立80周年を迎えるにあたり、平成24年3月期第2四半期末配当金及び平成24年3月期末配当金を、それぞれ1株当たり5円の普通配当に加えて1円の記念配当の実施を予定しております。
平成24年3月期第2四半期末配当金の内訳　普通配当　5円00銭　記念配当　1円00銭
平成24年3月期末配当金の内訳　普通配当　5円00銭　記念配当　1円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	77,000	△3.5	3,900	△22.6	3,900	△17.4	2,300	△27.9	24.77
通期	158,000	△0.7	8,700	△9.3	8,600	△6.9	5,100	9.3	54.92

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	93,065,554 株	23年3月期	93,065,554 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	206,273 株	23年3月期	205,743 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	92,859,381 株	23年3月期1Q	92,865,675 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報等 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により生産活動が冷え込み、個人消費が減少するなど景気は急速に悪化いたしましたが、サプライチェーンの立て直しが進むなか徐々に持ち直しの兆しが見られるようになってきました。海外経済におきましては、アジアでは中国・インドが内需を中心に引き続き好調を維持しました。米国では失業率の悪化や個人消費の減少により景気回復が緩やかになり、欧州では国ごとのばらつきがあるものの総じて景気は持ち直しつつあります。

このような状況の中で、売上高は、円高に伴って海外子会社の売上高の円換算額が減少したこともあり、396億６千１百万円(前年同期比0.7%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより25億８千３百万円（同4.6%減）、経常利益は為替差損が為替差益に転換したこと及び支払利息が減少したことなどにより26億６千２百万円（同4.9%増）となり、四半期純利益は13億１千９百万円（同32.8%減）となりました。これは、前第１四半期連結累計期間において、負ののれん発生益や固定資産売却益を特別利益に計上したことなどによります。

次に事業セグメントの業績についてご報告いたします。

なお、営業利益につきましては、全社費用等の配分前で記載しております。

（化成品事業）

当事業は、無機・有機顔料、各種着色剤、情報記録材料の製造・販売を行なっております。印刷インキ業界向けを中心とした汎用顔料は、全体としては横這いで推移しましたが、ＩＴ関連業界向けの情報記録材料は国内外市場向けの需要に牽引され堅調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は65億３千６百万円（同4.0%増）となり、営業利益は11億１百万円（同8.0%増）となりました。

（化学品事業）

当事業は、各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材の製造・販売を行なっております。車両業界向けの各種機能性着色剤は、東日本大震災によるサプライチェーンの分断により減産体制を余儀なくされた影響を受け低調に推移しました。また、生活関連業界向けの合成樹脂着色剤は一部の復興需要もあり比較的堅調に推移しました。各種コート材は，フィルム業界向けや建材業界向けを中心に堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は207億５千６百万円（同2.2%減）となり、営業利益は16億６千２百万円（同4.6%増）となりました。

（高分子事業）

当事業は、高分子製品、天然高分子製品の製造・販売を行なっております。車両業界向けのウレタン樹脂はアジア向けの輸出が伸長しましたが、国内向けは化学品事業と同様に東日本大震災の影響を受け低迷しました。また、その他の業界向けは比較的堅調に推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は41億５千３百万円（同4.0%減）となり、営業利益は６億１千９百万円（同23.8%減）となりました。

（印刷総合システム事業）

当事業は、各種印刷インキの製造・販売及び事業に付帯する商品とサービスを提供しております。グラビアインキは食品や日用品関連などの軽包装業界向けが好調に推移しましたが、オフセットインキはチラシなどの商業印刷業界向けを中心に全体としては弱含みで推移しました。利益面につきましては、原材料コストの上昇などの影響に加え、貸倒引当金繰入額を計上したことなどにより低迷しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は77億１千５百万円（同2.7%増）となり、営業利益は４億１千６百万円（同37.1%減）となりました。

（その他事業）

当事業は、原材料の転売、グループ各社への不動産賃貸及び金融事業等を行なっております。

当セグメントの売上高は４億９千８百万円（同14.5%減）となりました。営業損益は、不動産賃貸にかかる収入を売上高に含めず営業外収益として計上したことなどにより、４千８百万円の損失となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末の総資産は1,485億５千８百万円となり、前連結会計年度末と比べ８億１千７百万円増加致しました。これはたな卸資産の増加などにより流動資産が５億３千３百万円増加し、有形固定資産が設備投資を進めたことにより４億８千８百万円増加したことなどによるものであります。

（負債）

当第１四半期連結会計年度末の負債合計は1,000億３百万円となり、前連結会計年度末と比べ６億４千８百万円減少しました。これは未払法人税や賞与などの支払いを行なったことなどによるものであります。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産合計は485億５千４百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億６千６百万円増加致しました。これは主として四半期純利益の計上により利益剰余金が８億５千５百万円増加するとともに、その他の包括利益累計額合計も５億６千９百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年５月13日に公表した以下の数値より変更はありません。

（百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第２四半期（累計）	77,000	3,900	3,900	2,300
通期	158,000	8,700	8,600	5,100

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,512	19,743
受取手形及び売掛金	44,128	44,898
有価証券	118	120
たな卸資産	21,405	23,372
その他	2,253	1,817
貸倒引当金	△119	△119
流動資産合計	89,300	89,833
固定資産		
有形固定資産		
土地	20,312	20,432
その他（純額）	20,142	20,511
有形固定資産合計	40,455	40,943
無形固定資産	918	922
投資その他の資産		
投資有価証券	10,474	10,506
その他	7,064	6,928
貸倒引当金	△472	△577
投資その他の資産合計	17,066	16,857
固定資産合計	58,440	58,724
資産合計	147,740	148,558
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,359	28,663
短期借入金	26,982	27,643
1年内返済予定の長期借入金	7,293	8,235
未払法人税等	1,171	587
賞与引当金	2,040	1,074
工場閉鎖損失引当金	3	－
環境対策引当金	351	269
その他	3,868	4,730
流動負債合計	70,071	71,204
固定負債		
長期借入金	18,876	17,477
退職給付引当金	8,602	8,311
役員退職慰労引当金	466	404
環境対策引当金	886	902
負ののれん	94	72
その他	1,653	1,631
固定負債合計	30,580	28,798
負債合計	100,652	100,003

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,039	10,039
資本剰余金	9,193	9,193
利益剰余金	31,349	32,204
自己株式	△87	△88
株主資本合計	50,495	51,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258	501
繰延ヘッジ損益	△27	△19
為替換算調整勘定	△4,674	△4,354
その他の包括利益累計額合計	△4,442	△3,872
少数株主持分	1,036	1,077
純資産合計	47,088	48,554
負債純資産合計	147,740	148,558

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	39,923	39,661
売上原価	33,190	32,933
売上総利益	6,732	6,728
販売費及び一般管理費	4,026	4,145
営業利益	2,706	2,583
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	101	99
為替差益	―	41
負ののれん償却額	15	22
持分法による投資利益	37	13
その他	126	128
営業外収益合計	286	311
営業外費用		
支払利息	229	204
為替差損	149	―
その他	74	28
営業外費用合計	454	232
経常利益	2,538	2,662
特別利益		
固定資産売却益	194	0
負ののれん発生益	343	―
その他	87	0
特別利益合計	624	0
特別損失		
投資有価証券評価損	54	390
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	279	―
その他	18	18
特別損失合計	352	409
税金等調整前四半期純利益	2,810	2,253
法人税、住民税及び事業税	467	437
法人税等調整額	341	454
法人税等合計	808	892
少数株主損益調整前四半期純利益	2,002	1,361
少数株主利益	39	42
四半期純利益	1,962	1,319

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,002	1,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△680	245
繰延ヘッジ損益	4	7
為替換算調整勘定	48	279
持分法適用会社に対する持分相当額	10	52
その他の包括利益合計	△617	585
四半期包括利益	1,384	1,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,336	1,889
少数株主に係る四半期包括利益	48	58

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	6,286	21,217	4,326	7,509	583	39,923	－	39,923
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	54	13	24	55	3,655	3,803	(3,803)	－
計	6,341	21,231	4,351	7,565	4,238	43,726	(3,803)	39,923
セグメント利益（営業利益）（△損失）	1,019	1,588	812	661	△158	3,923	(1,216)	2,706

（注）１．「その他事業」には、不動産管理、金融事業を営む会社が含まれておりますが、当事業に係る収入は売上高に含めておらず、営業外収益として計上しております。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,216百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

重要な事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

「高分子事業」セグメントにおいて、当社が「その他事業」セグメントに属するハイブリッジ株式会社の株式を追加取得したことに伴い、「高分子事業」に属する浮間合成株式会社の持分比率が増加しております。

この結果、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、第１四半期連結累計期間において343百万円となっております。この負ののれん発生益は、報告セグメントの収益には含めておりません。

（追加情報）

当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年３月21日）を適用しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	化成品事業	化学品事業	高分子事業	印刷総合システム事業	その他事業（注１）	計		
売上高								
(1)外部顧客への売上高	6,536	20,756	4,153	7,715	498	39,661	－	39,661
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	101	6	17	－	4,350	4,476	(4,476)	－
計	6,638	20,762	4,170	7,715	4,849	44,137	(4,476)	39,661
セグメント利益（営業利益）（△損失）	1,101	1,662	619	416	△48	3,749	(1,166)	2,583

（注）１．「その他事業」の営業損失は、当事業において当社グループ会社等への不動産管理、金融事業などの役務提供を営む会社が含まれているためであります。当事業に係る収入は営業外収益として計上しており、また営業費用については各報告セグメントへの配賦を行なっておりません。

２．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,166百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務、経理などの本社機構の費用及び研究開発の費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

重要な事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

各報告セグメントに属する主要製品・サービス

報告セグメント	主要製品・サービス
化成品事業	無機・有機各種顔料、各種着色剤、情報記録材料
化学品事業	各種合成樹脂着色剤・コンパウンド、各種コート材
高分子事業	高分子製品、天然高分子製品
印刷総合システム事業	各種印刷インキ、事業に付帯する商品とサービス
その他事業	原材料の転売、グループ会社への不動産賃貸及び金融事業、その他

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。